

パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上一般まで）

パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上一般まで）

特選

肥満 HIMAN

～忍び寄る黒い影～

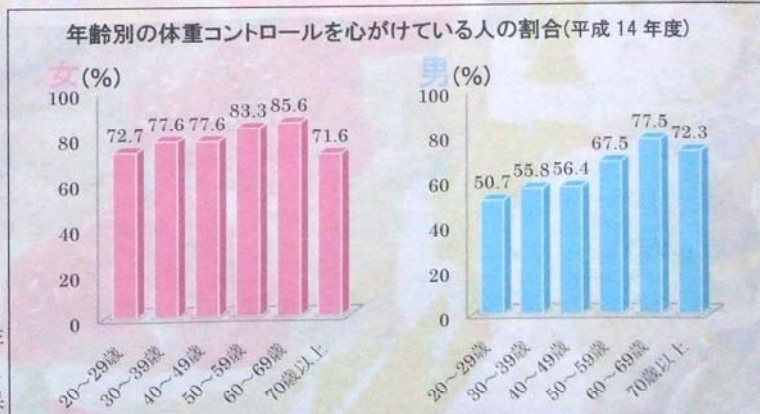
肥満とは・・・

「肥満＝ただ太っている」というイメージが私達の中にあるかもしれない。しかし医学的にいう「肥満」とは脂肪が一定以上多くなった状態のことを指すのである。人間の体は主に水分・糖質・タンパク質・ミネラル・脂肪でできているが、この中の脂肪の割合が多すぎる状態のことを「肥満」であるという。だから、いくら体重が重くても、脂肪が少なく、筋肉や骨の割合が多い人は、「肥満」にはならない。



上のグラフから女性の肥満の割合は60～69歳が最も高いことがわかる。
男性は40～49歳が最も高いようだ。

右のグラフから男性も女性も20代から60代へ年をとればとるほど体重コントロールを心がけている人の割合が増えている。そして見てわかるように女性のほうがその意識が高いようだ。



まとめ

全体的に日本人の肥満は男性に多い。一方女性は60代までは、意識して肥満ではない状態を保っているが、70歳を超えると見た目を気にしなくなり、肥満になってしまう人が増えるようだ。

この学習を終えて私たちは、肥満にならないために食事の栄養バランスを考えたり運動をしたりして歳をとっても常に美意識をもち続けていこうと思った。 ～引用～

(厚生労働省「国民健康・栄養調査」平成15年より)

<http://www.bm.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/seikatu/himan/>

統計グラフ全国コンクール入賞（佳作）作品

福岡県立八幡高等学校 1年

はやし ききね
しもつか ゆい
下岡 結衣

入 選

子供の活字離れ

～本当に活字離れは起きているのか～

☆私は門司学園高等学校1年5組のクラス男子12人女子25人に協力してもらいアンケートをとりました。これはそのアンケートの結果です。

Q1 あなたは本を読みますか？（学校を讀書の時間は除く）

男子

まったく読まない	17%
あまり読まない	25%
たまたに読む	33%
よく読む	25%

女子

まったく読まない	12%
あまり読まない	21%
たまたに読む	42%
よく読む	25%

よく読むために読む人は男子も女子も文庫本をおもに読むそうです。
全く読まないと答えた人になぜ読まないのかを聞いたところ忙しいと答えた人と、本がきらいと答えた人にだいたい分れました。

Q2 家で読みたい本と家で読まない本を比べてみることにしました。

男子

読みたい本	50%
読まない本	33%
どちらかといえば読みたい	17%
どちらかといえば読まない	0%

女子

読みたい本	44%
読まない本	29%
どちらかといえば読みたい	17%
どちらかといえば読まない	10%

私は家で本を読みたい本が多いがあまり本を家で読む人はいませんでした。このようなことから子供の活字離れは起こってきているような気がしました。

男子

好きな本	50%
嫌いな本	33%
どちらかといえば好き	17%
どちらかといえば嫌い	0%

女子

好きな本	44%
嫌いな本	29%
どちらかといえば好き	17%
どちらかといえば嫌い	10%

基本的に本を嫌いな人は少なかったのにどうして活字離れなどが起こっているのかなと疑問に思いました。

最後に…

以上のことから私の周りではあまり活字離れは起こってないとおもいます。みんなにとってアンケートでも4月から5月の間に多くの人が1から5冊以上の本を読んでいた。しかし私の家の近くの本屋や図書館では子供への読み聞かせを行っているところが多くあります。このことから私は小学生などの子供に活字離れは起きているのではないかなと思いました。

福岡県立門司学園高等学校 1年

くとう 愛理
工藤

食料自給率

外国と比べた日本の食料自給率

引用先 農林水産省発表2012年データ

オーストラリア	230%
フランス	190%
アメリカ	119%
ドイツ	91%
イギリス	74%
日本	40%

右のグラフを見てわかるように、他の先進国と比べても、この数値は非常に低く、日本は、危機的状況です。

日本の食料自給率の推移

引用先 日本国内食料自給率ホームページ

年	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2010
自給率	79%	73%	60%	54%	53%	53%	48%	43%	40%	40%

日本の食料自給率は、年々低下しています。そして、79%もあった食料自給率は、現在40%まで下がっています。

食品別生産自給率

引用先 日本国内食料自給率ホームページ

小麦	7%
油糧類	19%
米	100%
みかん	104%
ニンジン	80%
ヨーグルト	20%
大豆	5%

左のグラフは、日本の食品別生産自給率を表したものです。私たちの主食である「米」は、100%、みかんは、104%という、高い数値がでていますが、大豆やヨーグルトは、非常に低い数値がでています。

◎まとめ ◎ ～原因と解決策～

食料自給率の長期的な低下の原因には、私たちの食生活の大きな変化と考えられています。そして、約一・大量かつ安価な輸入食品への需要が高まって、相対的に国産の農作物への需要が減少する傾向にあることや、国内での農地の減少や耕作放棄地の増加や生産者の高齢化などの農業生産の基盤の弱体化が原因としてあげられます。

解決策として次のようなことがあげられます。

1. まずは、国内のものを買う！ 2. 衰退している農業を再生させる！ などが、

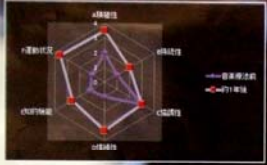
福岡県立八幡高等学校 1年

しょうの はるか
庄野 花佳
たかす ともこ
高須 智子

入 選

○音楽療法の現状○


＊音楽療法とは…
音楽を聞いたり演奏したりする際の生理的・心理的・社会的な効果を応用し、心身の健康の回復、向上をはかる行為。聴唱や演奏を行う能動的音楽療法と音楽を聴くなどの受動的音楽療法の2つに分かれる。



これは、実際に音楽療法で1年間治療を行った方の治療結果を、グラフにしたもの。知的機能が回復しているところから、認知症などの治療に効果的であることを感じさせられた。（←HP まりこお母様より）
<http://www.geocities.jp/miyasaka-riha/part2/stage1/riha2.htm#2> 音楽療法 (2)

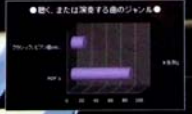
しかし音楽療法を聞いていく上で、音楽療法は異常者にも効果的だと知り学年130名に、アンケートをとった。すると、予想外の結果に驚かされた。ないという回答は比較的少数だと考えていたからだ。

●音楽を聴く、または演奏して心が落ち着いたりストレス解消したと感じたことはありますか？



回答	割合
ある	76%
ない	24%

また、あると回答した人に詳しく聞いてみた。



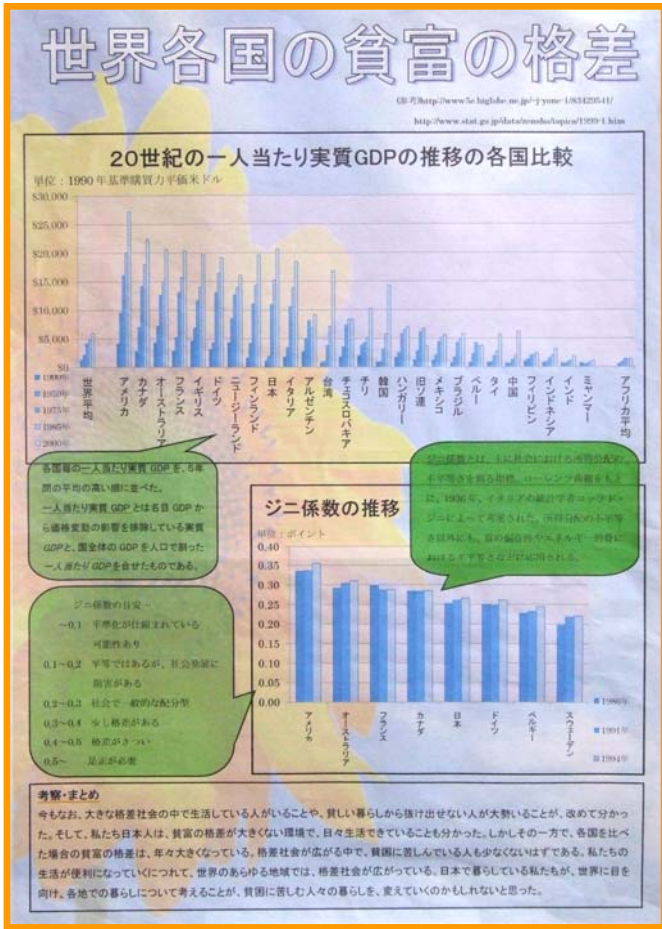
●聴く、または演奏する曲のジャンル

私は音楽療法には偉大な力があると思う。しかしまだ世間には理解されておらず、音楽療法の治療を受ける際、保険がきかない。もっとたくさんの人に音楽療法の効果を理解され、もっと世間に広まるべきだと私は思う！！

福岡県立門司学園高等学校 1年

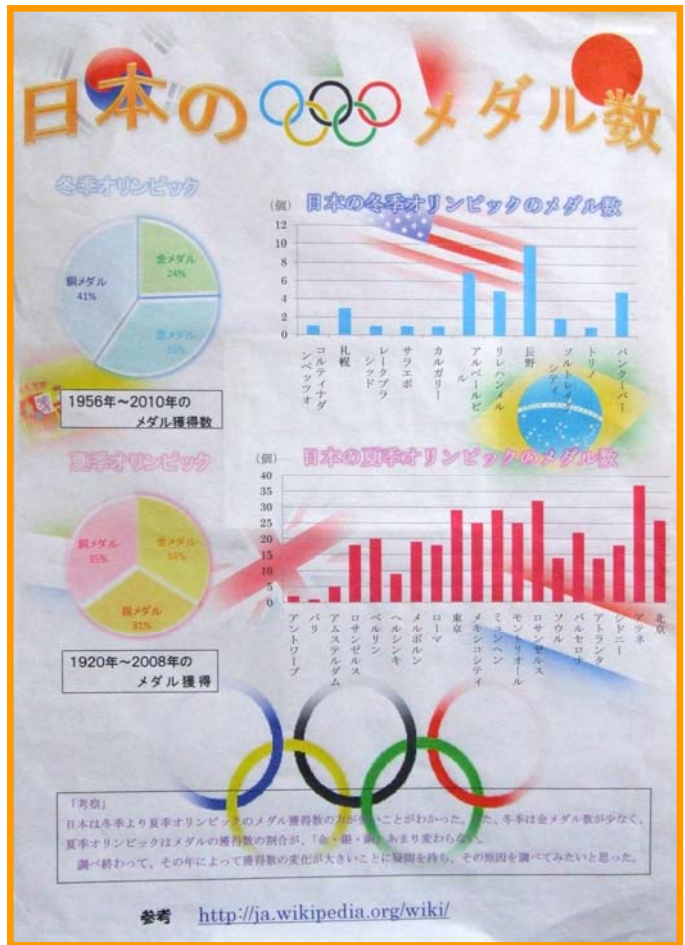
そりはし みつき
反橋 光希

佳作



福岡県立八幡高等学校 1年

みやけ ともこ
 三宅 智子
 きした なお
 岸田 奈於
 まつお あやね
 松尾 彩音



福岡県立八幡高等学校 1年

くらはし ともか
 倉橋 知伽
 よしむら あおい
 吉村 葵
 わだ まなみ
 和田 葉奈美